



## 2023年10月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年9月14日

上場会社名 株式会社AB&Company 上場取引所 東  
 コード番号 9251 URL https://ab-company.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 市瀬 一浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 出町 典之 TEL 03 (4500) 1383  
 四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年10月期第3四半期の連結業績 (2022年11月1日~2023年7月31日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	12,543	42.4	1,459	52.2	1,366	51.8	914	50.4	914	50.4	912	49.6
2022年10月期第3四半期	8,807	7.0	958	△16.2	900	△15.9	607	△12.7	607	△12.7	609	△12.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	60.65	60.21
2022年10月期第3四半期	41.03	40.27

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	23,181	8,430	8,430	36.4
2022年10月期	23,053	7,910	7,910	34.3

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	-	0.00	-	28.07	28.07
2023年10月期	-	0.00	-	-	-
2023年10月期 (予想)	-	-	-	28.07	28.07

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年10月期の連結業績予想 (2022年11月1日~2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,762	33.1	1,703	24.7	1,579	22.9	1,020	22.9	1,020	22.9	67.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期3Q	15,101,914株	2022年10月期	15,022,414株
② 期末自己株式数	2023年10月期3Q	1,055株	2022年10月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年10月期3Q	15,074,368株	2022年10月期3Q	14,812,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。また、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ウィズコロナ時代への社会全体の適応が進み景気は緩やかに持ち直しております。

しかしながら、混迷が長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料価格やエネルギーコストの高騰、急激な為替変動による消費者物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績の状況は以下のとおりであります。

#### (売上収益、売上原価、売上総利益)

売上収益は、前第3四半期連結累計期間比3,736百万円増加し、12,543百万円(前年同四半期比42.4%増)となりました。直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店、株式会社BELLTREE・株式会社KESHIKIの連結子会社化に伴う直営店舗増加等が主因で、各セグメントにおける売上収益が増収となりました。前第3四半期連結累計期間比で直営美容室運営事業が3,545百万円、フランチャイズ事業の売上収益が152百万円、インテリアデザイン事業が387百万円、それぞれ増収となりました。

売上原価については、前第3四半期連結累計期間比で2,108百万円の増加となり、6,535百万円(同47.6%増)となりました。

この結果、売上総利益は前第3四半期連結累計期間比1,627百万円増加し、6,008百万円(同37.2%増)となりました。

#### (販売費及び一般管理費、その他収益、その他費用、営業利益)

販売費及び一般管理費は、直営及びフランチャイズ店舗の積極的な新規出店に伴う固定費の増加や、事業拡大に伴う人員の増加等により前第3四半期連結累計期間比で1,151百万円増加し、4,570百万円(同33.7%増)となりました。

その他収益は、前第3四半期連結累計期間比で39百万円増加し、75百万円(同113.3%増)となりました。

その他費用は、前第3四半期連結累計期間比で15百万円増加し、53百万円(同41.8%増)となりました。

この結果、営業利益は前第3四半期連結累計期間比で500百万円増加し、1,459百万円(同52.2%増)となりました。

#### (金融収益、金融費用、税引前四半期利益)

金融収益は、前第3四半期連結累計期間比で10百万円減少し、0百万円(同99.8%減)となりました。

金融費用は、前第3四半期連結累計期間比で22百万円増加し、93百万円(同31.4%増)となりました。

この結果、税引前四半期利益は前第3四半期連結累計期間比で465百万円増加し、1,366百万円(同51.8%増)となりました。

#### (法人所得税費用、四半期利益)

法人所得税費用は、前第3四半期連結累計期間比159百万円増加し、451百万円(同54.5%増)となりました。

四半期利益は、前第3四半期連結累計期間比で306百万円増加し、この結果、四半期利益は914百万円(同50.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(直営美容室運営事業)

直営美容室運営事業につきましては、新規出店及び株式会社BELLTREE・株式会社KESHIKIの連結子会社化に伴う直営店舗増加が主因で美容サービス収益が増加しました。この結果、売上収益は10,413百万円(同51.6%増)、外部収益は10,413百万円(同51.6%増)、セグメント利益は392百万円(同396.1%増)となりました。

(フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の新規出店及び既存店の増収により、ロイヤリティー収益が増加いたしました。なお、株式会社BELLTREE・株式会社KESHIKIの連結子会社化に伴いセグメント間収益が増加し、外部収益は減少しております。この結果、売上収益は1,680百万円(同10.0%増)、外部収益は969百万円(同2.4%減)、セグメント利益は679百万円(同4.2%増)となりました。

(インテリアデザイン事業)

インテリアデザイン事業につきましては、直営店舗及びフランチャイズ店舗の新規出店により、内装工事等の受注が増加いたしました。この結果、売上収益は1,653百万円(同30.6%増)、外部収益は1,161百万円(同22.6%増)、セグメント利益は139百万円(同44.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ160百万円増加し、3,340百万円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の減少56百万円、営業債権及びその他の債権の増加146百万円、株主優待実施に伴う棚卸資産の増加70百万円等によるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、19,840百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加36百万円、使用権資産の減少103百万円、その他の金融資産(非流動)の増加35百万円等によるものであります。

この結果、資産は、前連結会計年度末に比べ127百万円増加し、23,181百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ395百万円増加し、4,477百万円となりました。これは主として、営業債務及びその他の債務の増加53百万円、借入金(流動)の増加401百万円、リース負債(流動)の増加49百万円、中間納付等に伴う未払法人所得税等の減少69百万円、その他の流動負債の減少39百万円等によるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、10,272百万円となりました。これは主として、借入金(非流動)の減少675百万円、リース負債(非流動)の減少147百万円、引当金(非流動)の増加31百万円等によるものであります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べ392百万円減少し、14,750百万円となりました。

(資本)

資本は、前連結会計年度末に比べ520百万円増加し、8,430百万円となりました。これは主として、新株発行及び新株予約権の行使に伴う資本金の増加15百万円、資本剰余金の増加14百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益による利益剰余金の増加914百万円に対し、配当に伴う利益剰余金の減少421百万円の差額による利益剰余金の増加492百万円等によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少し、1,884百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は2,113百万円(前年同期は1,313百万円の増加)となりました。これは主に増加要因として税引前四半期利益1,366百万円(前年同期比465百万円の増加)、減価償却費及び償却費1,491百万円(前年同期比382百万円の増加)等に対し、営業債権及びその他の債権の増加144百万円(前年同期比92百万円の減少)、棚卸資産の増加70百万円(前年同期比65百万円の増加)、営業債務及びその他の債務の増加25百万円(前年同期比111百万円の減少)、法人所得税の支払額523百万円(前年同期比7百万円の増加)等の資金減少要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は425百万円(前年同期は324百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出365百万円(前年同期比150百万円の増加)、無形資産の取得による支出15百万円(前年同期比53百万円の減少)等の資金減少要因があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,747百万円(前年同期は1,071百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純増額202百万円(前年同期は該当なし)に対し、長期借入金の返済による支出486百万円(前年同期比135百万円の増加)、リース負債の返済による支出1,070百万円(前年同期比299百万円の増加)、配当金の支払額421百万円の増加(前年同期は該当なし)等の資金減少要因があったことによるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月15日付で公表いたしました2023年10月期通期業績予想に変更はありません。2023年10月期においては引き続き新型コロナウイルス感染症に伴う各種イベントの減少や在宅勤務の定着化の影響を少なからず受けながらも、各セグメントの業績がいずれも堅調に推移すると見込んでおります。なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,941	1,884
営業債権及びその他の債権	757	903
棚卸資産	71	142
その他の流動資産	408	409
流動資産合計	3,179	3,340
非流動資産		
有形固定資産	1,388	1,425
使用権資産	4,609	4,505
のれん	8,502	8,488
無形資産	4,403	4,400
その他の金融資産	525	561
繰延税金資産	412	412
その他の非流動資産	32	48
非流動資産合計	19,874	19,840
資産合計	23,053	23,181

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	941	994
契約負債	31	30
借入金	1,029	1,431
リース負債	1,341	1,390
未払法人所得税等	285	216
その他の流動負債	453	413
流動負債合計	4,082	4,477
非流動負債		
借入金	5,780	5,105
リース負債	3,204	3,057
引当金	727	759
繰延税金負債	1,348	1,351
その他の非流動負債	0	—
非流動負債合計	11,061	10,272
負債合計	15,143	14,750
資本		
資本金	169	185
資本剰余金	4,977	4,992
利益剰余金	2,754	3,247
その他の資本の構成要素	7	5
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,910	8,430
資本合計	7,910	8,430
負債及び資本合計	23,053	23,181



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
売上収益	8,807	12,543
売上原価	△4,426	△6,535
売上総利益	4,381	6,008
販売費及び一般管理費	△3,419	△4,570
その他収益	35	75
その他費用	△37	△53
営業利益	958	1,459
金融収益	10	0
金融費用	△70	△93
持分法による投資利益	2	—
税引前四半期利益	900	1,366
法人所得税費用	△292	△451
四半期利益	607	914
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	607	914
四半期利益	607	914
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	41.03	60.65
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	40.27	60.21

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期利益	607	914
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	1	△1
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	1	—
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	2	△1
税引後その他の包括利益	2	△1
四半期包括利益	609	912
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	609	912
四半期包括利益	609	912

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年11月1日時点の残高	90	4,924	1,924	1	6,940	6,940
四半期利益	—	—	607	—	607	607
その他の包括利益	—	—	—	2	2	2
四半期包括利益合計	—	—	607	2	609	609
新株の発行	39	13	—	—	52	52
新株予約権の行使	3	3	—	—	7	7
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	△0	△0	△0
所有者との取引額合計	43	17	—	△0	60	60
2022年7月31日時点の残高	133	4,941	2,532	3	7,611	7,611

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2022年11月1日時点の残高	169	4,977	2,754	7	7,910	7,910
四半期利益	—	—	914	—	914	914
その他の包括利益	—	—	—	△1	△1	△1
四半期包括利益合計	—	—	914	△1	912	912
新株の発行	2	1	—	—	3	3
新株予約権の行使	13	13	—	△0	26	26
剰余金の配当	—	—	△421	—	△421	△421
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	15	14	△421	△0	△391	△391
2023年7月31日時点の残高	185	4,992	3,247	5	8,430	8,430

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	900	1,366
減価償却費及び償却費	1,109	1,491
減損損失	7	—
持分法による投資損益(△は益)	△2	—
金融収益及び金融費用	60	93
固定資産除売却損益(△は益)	7	7
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△236	△144
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5	△70
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	136	25
契約負債の増減額(△は減少)	2	△0
その他	△87	△53
小計	1,892	2,713
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△62	△76
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△516	△523
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,313	2,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△215	△365
有形固定資産の売却による収入	3	44
無形資産の取得による支出	△68	△15
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△9	—
差入保証金の差入による支出	△47	△51
差入保証金の回収による収入	19	14
その他	△7	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△324	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	202
長期借入金の返済による支出	△350	△486
リース負債の返済による支出	△770	△1,070
配当金の支払額	—	△421
株式の発行による収入	49	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,071	△1,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△80	△56
現金及び現金同等物の期首残高	1,394	1,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,313	1,884

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは持株会社体制をとっており、当社は持株会社としてグループ経営戦略の策定及びグループ会社の経営指導等を行い、各子会社において事業活動を展開しております。当社グループは、事業の種類別に「直営美容室運営事業」、「フランチャイズ事業」及び「インテリアデザイン事業」の3つを報告セグメントとしております。

直営美容室運営事業は、当社グループにおける直営店舗の運営による美容サービスの提供を行っております。

フランチャイズ事業は、当社グループのフランチャイズ加盟店に対して、経営指導、企業ノウハウ及び教育研修の提供、プライベートブランド商品の販売、材料仕入、広告代理業務、採用、経理や管理業務の代行等を行っております。

インテリアデザイン事業は、美容室等の内装デザインや施工業者のアレンジ等のサービス提供を行っております。

## (2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	6,867	992	947	8,807	—	8,807	—	8,807
セグメント間収益	—	535	318	854	542	1,396	△1,396	—
計	6,867	1,528	1,265	9,661	542	10,204	△1,396	8,807
セグメント利益	79	651	96	826	203	1,030	△71	958

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半期 連結財務諸 表計上額
	直営美容室 運営事業	フランチャ イズ事業	インテリア デザイン 事業	計				
売上収益								
外部収益	10,413	969	1,161	12,543	—	12,543	—	12,543
セグメント間収益	—	711	491	1,203	651	1,854	△1,854	—
計	10,413	1,680	1,653	13,747	651	14,398	△1,854	12,543
セグメント利益	392	679	139	1,210	338	1,549	△90	1,459

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、本社管理事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

## (1株当たり情報)

(第3四半期連結累計期間)

(1) 基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	607	914
期中平均普通株式数(株)	14,812,814	15,074,368
基本的1株当たり四半期利益(円)	41.03	60.65

(2) 希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益(百万円)	607	914
期中平均普通株式数(株)	14,812,814	15,074,368
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	277,141	110,558
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	15,089,955	15,184,926
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	40.27	60.21

(重要な後発事象)

該当事項はありません。